

ホストタウン交流フェス 「Sports for All ルーマニア・パラ」開催

東京2020オリンピック・パラリンピックを1年半後に控えた今年1月20日、ルーマニアのパラアスリート3名をゲストに迎え、交流イベントを開催しました。

東京2020大会において武蔵野市はルーマニアのホストタウンに決定しており、この交流イベントは、大会本番に向けて市民とルーマニアの交流を深めていくことを目的に開催。イベント当日は、強化練習を支援するために日本に招いたルーマニアのパラアスリートも来場し、パラ卓球アンバサダーのフリーアナウンサー・大橋未歩さんとトークセッションを行いました。

また、そのほかにも民芸品作りやルーマニア語ミニ講座などルーマニアにちなんだ各種ワークショップ、ゲストのデモンストレーションも交えたパラスポーツ体験など、会場は子どもから大人まで多くの来場者でにぎわいました。



来場者によって書かれた応援旗を贈りました



パラスポーツサーキット



パラ卓球のデモンストレーション



視覚障害者柔道のデモンストレーション



名誉市民 伊藤正男氏 逝去

武蔵野市名誉市民の伊藤正男氏が、去る12月18日に90歳で逝去されました。伊藤氏は、昭和45年に東京大学医学部教授になられ、その後、日本神経科学学会会長、日本学会議会議長などを歴任され、組織の長としてもそのお力を発揮されました。平成6年に文化功労者、平成8年には文

化勲章を受章されています。数多いご功績の中でも特筆すべきものは、脳の学習能力の基礎となる「シナプス可塑性」の発見で、複雑な脳の記憶や学習するメカニズムに関わる研究全体に新たな進展をもたらし、小脳研究の第一人者としてご活躍されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。